

生中通森

平成29年2月1日(水)

生駒市立生駒中学校

文責 校長 藤原康成

「口蓋垂」自分の知らないところで人は支えられ、生かされています。



今年の『節分』の日は、2月3日です。節分とは「季節の分かれ目」という意味で季節が変わる前日のことを指しています。ここでいう季節とは、『立春』『立夏』『立秋』『立冬』のこと。しかし、現代において節分といえば、“豆まき”や“恵方巻き”を食べる日、『立春』(2月4日頃)の前日のみを指します。これは昔、冬から春になるのを1年の始まりと考えており、今でいう『大晦日』のように「明日から新しい年」というように特別な日と捉えられていたからです。今年の恵方は「北北西」です。感覚としては、ほぼ北だけど、わずかに西よりです。私は毎年細めの手巻き寿司をほおぼっています。



◆恵方巻きを食べるポイントは以下の3つです。一度試してください。毎年何か途中でしゃべりだしてしまう人はちょっとがんばってみてください。

切らずに食べる / 恵方の方角を向いて食べる / 黙って願い事を思い浮かべながら食べる 願いが叶うといいですね。

【とってもうれしいお知らせ】

*私が生駒中学校にお世話になる以前から、月に1から2度、来賓の下駄箱の上に、四季折々の花々を生けていただいています。いつも朝夕は自然と目に優しく入ってきます。心が癒される空間があります。本当に有り難いことです。また、先日は昇降口前の広場のプランターに花の苗を植えていただきました。これも、卒業式や入学式には生徒のみなさんを歓迎すべく、美しくかわいい花を咲かせてくれることでしょう。温かい心を地域のみなさんからいただいていることに心から感謝したいと思います。そして、先日1・2年生のみなさん、3年生有志を中心に取組んだ、「第2回クリーンアップ作戦(1月24日朝一番)」は、私たちの暮らす、地域を少しでも美しくしたいという想いと、地域の方々への感謝の想いを込めて、美化 eco 委員会が企画運営してくれました。寒い中、本当にありがとう。心も一緒にきつと美しく輝いたと思います。「そして、あいさつも飛び交う町になればうれしいですね。」

{空き缶、ビン、ペットボトルなど、たーくさんのゴミを拾ってくれました。この量を捨てている人がいることに残念な想いもあります。拾う気持ちがわが町を誇れる町にしてくれるものと信じています。みんな本当にありがとう。}

☆ここで、活動を終えての参加したみなさんの感想をほんの一部ですが紹介します☆「クリーンUP作戦に行って良かったこと」・警察の人にお礼「ありがとう」を言ってもらったり、道がきれいになったこと。・近所にゴミが落ちていることを理解できたこと。また、こういった作戦を行って欲しい。・町がきれいになったこと。・人のためにすることで各自の心情が整えられる。幸せになれる。などなど……こうした体験を通して子どもたちがドンドン成長していること本当にうれしく感じています。子どもたちにお声掛けをいただいた皆様に心より感謝申し上げます。……

